



②₃ 檻森稻荷神社の常夜燈

榎森稻荷神社の鳥居前に建つ常夜燈で、明治40年(1907)に建立されています。



②₄ 檻森稻荷神社の常夜燈

榎森稻荷神社の社殿前に建つ常夜燈で、明治29年(1896)に個人により奉納されています。



②₅ 檻森稻荷神社の狐像

榎森稻荷神社の社殿前に建つ狐像で、大正15年(1926)に個人により奉納されています。



②₆ 猿田彦大神像塔

十輪寺境内に祀られる猿田彦大神の刻像塔で、文久3年(1863)に建立されています。市内の猿田彦の石塔で、唯一の刻像塔です。



②₇ 大日如來像

十輪寺境内に祀られる丸彫りされた大日如來坐像です。宝冠を被り、胸元で智拳印を結んでいます。



②₈ 觀世音菩薩像塔

明治20年(1887)に個人により建立され、十六番、□清水觀世音と彫られています。



②₉ 大神宮塔

宝永6年(1709)に伊勢参宮の記念に7名により建立されています。



③₀ 正一位樫森大明神塔

榎森稻荷神社参道入口に、慶応4年(1868)に馬内十兵衛により建立されています。



③₁ 八天神社石祠

榎森稻荷神社参道入口に明治44年(1911)に個人により建立された石祠です。



③₂ 恵比寿像

旧仁比山神社参道沿いに位置する恵比寿像で、舟形をした光背と左脇に鯛を抱えています。



③₃ 南無觀世音菩薩像塔

朝日の八天山中腹に位置する菩提寺へ至る道しるべの觀音で、寛政12年(1800)に建立されています。

仁比山・城原地区マップ

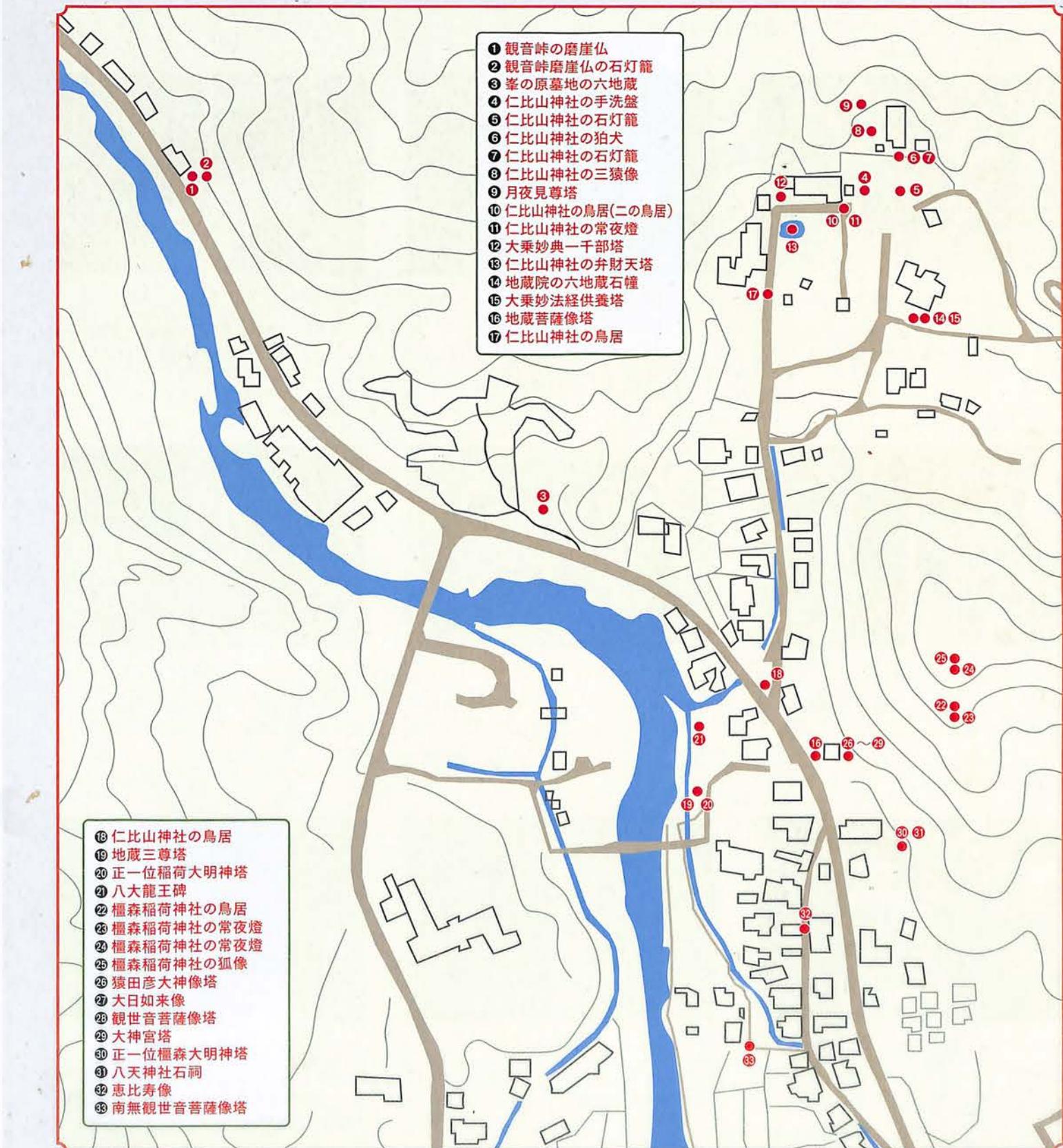
水・人・歴史がありなす かんざきを歩こう

かんざきを歩こう

仁比山地区

No.7

祈りと信仰コース





①観音峯の磨崖仏

脊振往還の觀音峯の崖面約4メートルの高さに彫られた觀音菩薩像です。



②観音峯磨崖仏の石灯籠

大正10年(1921)7月に建立された石灯籠です。



③峯の原墓地の六地蔵

峯の原墓地入口に建立された六地蔵です。地獄道の地蔵は天明元年(1781)に建立されています。



⑭仁比山神社の弁財天塔

境内の池に建立された水の神である弁財天石祠で、文化13年(1816)に玄透法印により建立されています。



⑮大乗妙法經供養塔

文久2年(1862)に建立された三部大乗妙法經供養塔で、石工は備前兒湯郡宮の浦の石工があたっています。



⑯地蔵菩薩像塔

花崗岩の自然石に坐像の地蔵菩薩像が彫られています。年号はなく製作年代は不明です。



④仁比山神社の手洗盤

享保8年(1723)に施主江上友通、願主武富太右衛門となり奉納されています。



⑤仁比山神社の石灯籠

天保7年(1836)に玄透法印が発起人となり、西川の石工平川次郎衛門一廣により建立されています。



⑥仁比山神社の狛犬

天保7年(1836)に玄透法印が発起人となり、石灯籠とともに建立された狛犬です。



⑦仁比山神社の石灯籠

宝暦10年(1760)に佐野龍右衛門ほか8名の寄進により建立されています。



⑧仁比山神社の三猿像

昭和7年(1932)4月の大御田祭開催の年に佐世保市の仁比山村同郷会により奉納されています。



⑨月夜見尊塔

明治31年(1898)に建立された十三夜尊講により建立され、石工は仁比山の野田新作です。



⑯仁比山神社の鳥居

大正13年(1924)に皇太子ご成婚記念として個人により建立された鳥居です。



⑰仁比山神社の鳥居

延宝2年(1674)に鍋島光茂・鍋島綱茂の寄進により建立された鳥居で、扁額には「山王大権現」と彫られています。



⑲地蔵三尊塔

自然石に掘られた三体形式の地蔵尊で、中央とその左右に坐像の地蔵菩薩像が彫られています。



⑩仁比山神社の鳥居(二の鳥居)

安政5年(1858)に建立された鳥居で、石工は平川傳三郎安國があたっています。



⑪仁比山神社の常夜燈

明治32年(1899)に個人により奉納された二の鳥居前に建つ常夜燈です。



⑫大乗妙典一千部塔

安永3年(1774)に吉祥院賢者法印義周により建てられた大乗妙典全部一千部塔です。



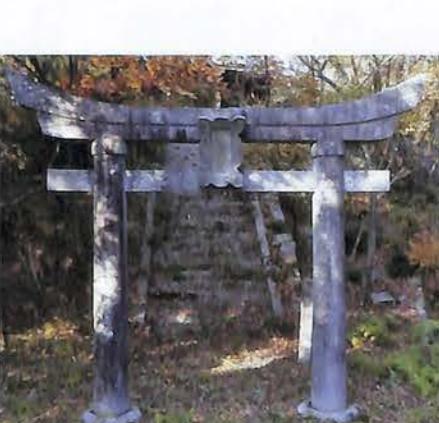
⑳正一位稲荷大明神塔

花崗岩の自然石に正一位稲荷大明神と彫られ、明治38年(1905)に建立されています。



㉑八大龍王碑

城原川の水利の起点となる大井手堰の取水口に位置し、巨岩に八大龍王と彫られています。この岩をたわして擦ると雨が降ると言い伝えられています。



㉒樅森稲荷神社の鳥居

樅森稲荷神社の社殿前に建つ鳥居で、明治25年(1892)に個人により奉納されています。